



国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「ロータリーはあなた自身から」
— You are the key —

高田ロータリー今年の
スローガン

「友情を深め合い、
ロータリーを楽しく！」



2014～2015年度

国際ロータリー会長 ゲイリー C.K. ホアン
2560地区ガバナー 佐々木昌敏
高田ロータリー会長 齋藤 尚明
幹事 牧野 章一

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員
小柳 勝司 佐藤 憲二 石田 誠夫 澤井 祥典
大島 誠 堀井 靖功 永井 謙

第25回例会 ■ 1月9日(金)

No.23

会長挨拶 ● 齋藤 尚明



皆様あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお願い致します。

本日は本年最初の例会です。恒例により上越市長村山秀幸様をお迎えしております。後程年頭の講話をして頂きその後新春を寿ぎささやかですが祝盃を挙げたいと思います。よろしくお願い致します。

この年末年始はわりと穏やかな天気で過ごしやすくてよかったですね。

さて私は毎年お正月に旧友と電話で話すのが習慣となっています。彼は今から42年前、私が京都へ陶芸の修行に行った時丁度東京からある骨董屋さんに丁稚修行に来ていました。師同志仲が良いのですぐに意気投合し、以来42年間竹馬の友のようにずっとつき合っています。

彼は4年程で東京へ戻りある画商さんに勤めました。主に明治以降の日本画を扱う美術商です。上越市の博物館も『小林古径展』や『安田靉彦展』等を開催した時に作品を借りたことがある業界では大きな力のあるところですね。

その後『最近の景気はどう?』と聞いたら『まあぼちぼちだね。』という答えが返ってきました。話によれば千万クラスの高いものがたまに出るけれども、下のクラスがあまり出ないと。やはり号何千円、何万円という安価なものがどんどん売れるようになって初めて景気が良くなってきたと実感するこのですね。

今年は安倍ノミクスが地方へ下へと何とか回ってきてほしいですし、それに加えて村ノミクスも併せてぜひとも良くなってほしいと心から願っています。どうかよろしくお願い致します。

出席報告

出席率 100%

ビジター

上越市長 村山秀幸様
永井真伊君・瀬川由樹子君 (高田 RAC 会長・幹事)

セレモニー

入会式



霜村 浩君 (有北陸園芸 代表取締役)



伴 長門君 (株東光クリエート 代表取締役社長)



新井徳幸君 (ホテルラングウッド上越 総支配人)

2014-15 年度会員スポンサーバッチ贈呈 (国際ロータリー会員表彰担当チームより)

佐藤憲二君・福田 聖君

委員会報告

職業分類・会員選考・R 情報委員会

職業分類について

ニコニコ BOX 委員会

会長・幹事——新年初例会に村山市長をお迎えでき誠に光栄です。

田中正人君——“謹賀新年” 昨年暮れに、国からの補助金、県、市のご許可を頂き高田駅前雁木下に防犯カメラ12台設置できました。安全・安心な駅前通りです。ありがとうございました。

大島 誠君——関根学園の向かいに建設中の特別養護老人ホームの名称が公募で決まりました。「サンクス レルヒの森」です。5月末完成、6月初旬 open の予定です。

霜村 浩君——入会に際して

伴 長門君——入会に際して

新井徳幸君——入会に際して よろしく願い申し上げます。

幹事報告

配布物：週報No.21・22、職業分類表

講話

魅力ある上越をめざして～現状と重点戦略～



上越市長 村山 秀幸 様

新春恒例の村山上越市長による講話は「上越市の現状について～上越市の重点戦略～」と題し、今朝東京へ陳情に向われた状況も交え、お聞きしました。要約を掲載いたします。

上越市内の経済・雇用状況は厳しい状況にあります。大都市圏のような回復基調はみられず、地方中小企業は原材料費、燃料代の高騰による収益の圧迫など想定以上に落ち込んでいます。

有効求人倍率は1.0前後ですが、常用では低く、業種間で大きな差が出ています。労働力の供給が厳しく雇用のミスマッチが起きています。

上越市の人口は合併当初の21万人から、間もなく20万人を切る現状にあります。このまま人口減少が続くと、地域の担い手の不足や労働力や消費量の減少による経済の縮小、行政においては、行政サービスや社会保障制度の維持などで、市民生活に大きな影響が現れると考えられます。少子化は学校の存立も難しくしています。生徒数が減少する中山間地と市部と同じ見方ができるのかなど、人口減少は市全体の大きな課題です。

労働力や消費量の減少、人口の減少は即市の財政

力の減少につながります。平成30年以降は毎年60～70億円不足する状況が見込まれます。

こうした状況下で、上越市は現在、この先8年間の取組方針を決める総合計画の策定を行っています。「住み続けたいまち」「選ばれるまち」が市政運営のテーマです。

戦略のキーワードは「暮らし」「産業」「交流」です。「公共交通による生活の足の確保」「働く場の選択枝の拡大」「新水族館や武道館を生かした交流など」を推進していきます。

また、国は地方創生に取り組むこととしており、その施策の効果を最大限にできるように取り組んでいきます。

どのようにして魅力ある上越にしていくのか、選んでもらえる地域にしていくのか、地域の発展には課題も数多くありますが、総合計画の策定を進めているところです。高田ロータリーの会員の皆様におかれても様々な場面で引き続きお力添えを頂きますようお願い申し上げます。

この後祝賀会に移り、村山市長の乾杯により、和やかに会は進行しました。

